



# 瑞穂中学校だより

【学校教育目標:ふるさとを愛し

心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年1月13日(金) NO. 30 文責:校長 柏原 哲郎

HP アドレス <https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu>



## 3学期の決意

### 1年 江崎 莉衣子さん 「3学期に頑張ること」

私が3学期に頑張ることは2つあります。1つ目は、勉強と部活の両立です。部活動では2月に県大会、そして学年末テストがあります。今、自分がやるべきことが何かをしっかりと考え、最後までやり切るという目標を持ち、県大会では優勝を目指します。さらに、学年末テストでは1学期、2学期よりも良い点数を取れるよう、日々の積み重ねを大切に頑張りたいです。

2つ目は、学年の課題を学級委員を中心に改善していくことです。学年集会の2学期の反省では「メリハリがついていない」「提出物を出さない」「休み時間や授業中に騒がしい時がある」等の意見がありました。これらの課題を改善するためには、まず私たち学級委員が行動しないといけないと思いました。私は、2学期には自ら呼びかけて注意があまりできませんでした。なので、3学期では積極的に呼びかけや注意を行い、課題を改善できるようにしたいです。

もうすぐ2年生になります。学年全員が学校での過ごし方を見直し、次の1年生の良いお手本となれるよう一人一人が心がけ、残りの3学期を有意義に過ごせるようにしたいです。

### 2年 雪屋 晴香さん 「3学期に頑張ること」

私は3学期に頑張りたいことがあります。それは、早寝早起き、メディアの時間を考えるなどの生活態度を改め、勉強や部活動に力を入れることです。

2年生のみなさん、私たち2年生は4月からこの学校のリーダーになります。なので、3学期は、学校全体をしっかりとまとめて、より良い学校にしていける3年生になる必要があります。そのための改善点が2つあると思います。

1つ目は、学級委員が中心となってみんなの積極性を高めていくことです。まだ、私たちは発表、あいさつ、返事などを積極的にできていません。なので、後輩の手本となるように積極的に行動したいです。そして、全校生徒が自らあいさつ、返事ができる、明るい学校にできるようにしたいです。

2つ目は、生活態度を改め、勉強面に力を入れることです。受験に関わらず、テスト等に向けて、毎日コツコツと勉強をしたいと思います。この2つを3学期の目標として頑張りたいです。

### 3年 永尾 知帆莉さん 「3学期の抱負」

ついに3年生にとって中学校最後の学期がスタートし、受験が目前となりました。これまでの3年生の生活を振り返ると、3学期、さらに頑張らないといけないことがあります。私たちは、うまく切り替えができないところがあり、ダラダラと生活してしまいます。なので、日々の生活の中で時間を大切に、見直す等、基本的なことを卒業までに改善できるよう、一人一人が努力していきたいです。



そして、受験が来週から始まります。受験は個人戦だと思いがちですが、団体戦です。クラス全員が受験に向き合い、頑張っていけるよう励まし合っていきたいと思います。

3人とも自分や学年学級の課題をしっかりと捉え、その克服に取り組もうとする意欲が伝わります。何事も「言うは易く、行うは難し」です。有言実行でさらなる成長を期待します。

また、3年生は16日(月)から19日(木)まで5つの私立高校の特別入試が始まり、多くの仲間がチャレンジします。団体戦の第一戦とも言えます。これから、第二戦、第三戦・・・と控えています。昨日は面接練習を行いました。表情や態度から緊張した様子が伝わりました。本番はもっと緊張することでしょう。しかし、自分一人が緊張するわけではありません。「みんな緊張するから心配しなくても良いよ。」と言葉をかけました。いざ、出陣です。頑張れ3年生!!

### タブレット端末を活用した初めてのチャレンジ

先日、1/11(水)の放課後に学級及び全校専門委員会を実施しました。各学級で各専門委員会に分かれ、今月の反省や来月の目標、対策等を決めます。そして、その結果を全校専門委員会の各専門委員会に持ち寄って、それぞれの委員会が学校全体としての今月の反省や目標、対策等の決定をします。これまでであれば、紙ファイルに挟んだ所定の用紙に各学級の反省や目標、対策等を記入していました。しかし、今回はその作業を各学級でタブレット端末(Googleスライド)に入力し、それを持ち寄りタブレット端末内で共有することで、黒板やホワイトボードに記入する手間を省くようにしました。今回、1、2年生は対面で、3年生は受験前の感染リスクを少しでも避けるためにオンライン(Meet)で参加する形で実施しました。初めてのチャレンジということでしたが、意外にスムーズにいった委員会もあれば、少し苦勞した委員会もあったようです。何事もやってみなければ分からないことも多いと思います。今回の初めてのチャレンジを今後につなげてくれるものと大いに期待しているところです。



### 校長からの宿題(お願い)

瑞穂中学校だよりNO. 28で紹介した、「この冬休み期間中には家族が喜ぶこと、助かること等、ちょっとしたことで良いので何か1つ決め、それを17日間毎日実行すること。」という校長からの宿題(お願い)に120名の全校生徒中、1年生26名、2年生30名、3年生24名、計80名の生徒が自分がすると決めたこと、そしてそれができた日には○を、できなかった日には✖を記入して提出してくれました。割合としては全体の約67%になります。その中で17日間毎日できたパーフェクトの生徒が3名いました。その人たちが決めたことは、「風呂掃除」「お手伝いをする」「靴の整理」となっています。やり遂げた時は達成感があったことでしょう。また、パーフェクトではないですが、提出してくれた生徒は毎日記録を付けています。つまり、決めたことを意識して毎日を過ごしてくれたと、とても嬉しく思います。みんな良く頑張ったと思います。「継続は力なり」とも言います。継続して何かをすることにより、そのことに対する力が身に付くと思います。また、継続して何かをすることで、自分には1つのことを継続できる、そういった力があるという自信にもつながると思います。次号では、生徒たちが「する」と決めたことや実際にできた日数等を紹介したいと思います。乞うご期待。

